

上海かわう版

上海日本人学校浦東校
野田 刚

平成二四年一月号

このまえの通しんは、いかがでしたか。上海日本人学校のことを知つてもらいましたか。

今回は、上海のまちのようすをお伝えしたいと思います。上海は人口が一二〇〇万人と言われています。日本人は五万人・八万人とも言われ、上海に住む外国人の中で一番多いと言われています。

今回は、私が一番よく行くスーパーについてご紹介します。日本によくあるもの、あまり見かけないものがありますので、それをじらんぐだい。

一月二三日は、旧正月です。日本の元旦がまたいいな感かくです。親せき一同集まり、おいしいものを食べたり飲んだりしてお祝いします。お祝いごとがある時、店の中は赤と黄色と金色一色になります。とにかく、中国人は赤が大好きです。

この赤みのくだけたものは、ドラゴンフルーツといいます。キウイフルーツから甘みをとったような食感です。見た目が、かなりおもしろいです。



肉コーナーです。こちらの肉は、頭も足も羽もそのままで、焼き上げます。クリスマスのローストチキンができましたが、今は大じょうぶです。食べるといふと、日本と変わらぬ、食べた味です。

上海には、日本の会社がたくさん工場をたてています。ですから、いろいろな物を作っています。中国の人もたくさん食べていています。日本で開発された食べ物は、おいしいと評判です。中国の人もたくさん食べています。上海には、日本の会社だけではなく日本の物も手に入れることがあります。今回はスーパーの紹介でした。次回をまたお楽しみに。